

11月21日(金) 午後の部
TOC実践事例発表

事例発表2-1

探究学習×TOCfE
～考えを整理し、深める思考ツール～

大阪府枚方市立五常小学校
教員
磯西 重行

公立小学校におけるTOCfEツールの活用事例を紹介します。
児童の探究学習では、複雑な問いに対して因果関係を整理し、思考を可視化することで自分ごととして、深い学びになりました。また、教員の業務改善では、日常的な課題の根本原因を明らかにし、実行可能な解決策の立案を支援しました。
TOCfEは年齢や立場を問わず、論理的思考と問題解決を促進するツールであることが示されました。

事例発表2-2

グローバル統合経営におけるTOC活用：
Virtual One Factoryの挑戦

株式会社AGIグループホールディングス
取締役 グループCOO
白土 竜馬

AGIグループは海外子会社を含むグローバル経営にTOCを活用しています。
TOCコンサルティングと事業会社のマネジメントを担う存在としてGSI - Global Strategy Innovationチームを編成。グループ経営の基盤としてスループット会計を導入し、赤字拠点にはTOCフローソリューションを適用。
キャパシティ制約と市場制約の問題を解決するVirtual One Factoryの実現を目指す取り組みを紹介します。

事例発表2-3

CCPMを開発の現場で使いやすく進化させた
「ハイビーム開発」手法の導入・定着と
組織内の広がりについてのご紹介

株式会社出雲村田製作所
生産技術開発二部 マネジャー
板倉 正和
ゴール・システム・コンサルティング株式会社
執行役員 チーフコンサルタント
小笠原 剛

我々(株)出雲村田製作所では、生産技術開発部門で導入着手したCCPMを我々の環境にあったやり方に深化させて「ハイビーム開発」と名付けて方法論化しました。
これは当部門での活動成果を生むためには不可欠なもので、取組みが定着するための原動力となりました。また、その後成果を社内外の各方面に発信し、社内他部門、他拠点、本社部門を巻き込んだ展開になってきました。
その一連の取り組みを、技術開発・製品開発を行う組織でのプロジェクトマネジメントの導入・定着・展開に関する事例としてシェアします。